

旧約聖書あと一步（五書）

今回は旧約聖書の専門家をお招きして・・・

講師：石黒則年 先生（大阪キリスト教短期大学教授）



学びの対象は、牧師、神学生、信徒伝道者、一般信徒
(意欲と関心のある人はどなたでもどうぞ)

期間：8週（2014.05.11～）

費用：一般1万円、牧師8千円(3千円の補助あり)

申し込み：4月の第一聖日、教報配布後に開始

締め切り：4月末日

定員：35名締め切り

elearning1308@gmail.com 担当：谷まで

【講座概要】

旧約聖書は読みづらいと感じる理由は、先ず第一にその分量の多さ、旧約の書かれた時代的・文化的背景と現代との感覚のズレ、各書巻の書かれた執筆背景についての不案内、易しく書かれた良い入門書が少ないことなどが上げられます。

それらを克服するために他の学習者と意見を交換しながら学び、可能な範囲で現代への適用の仕方を考えてみましょう。今回は旧約聖書の初めの五書を主な学習対象とします。

【各回の仮題】

1. 旧約聖書の重要性：新約聖書で「聖書」と呼ばれるのは全て旧約聖書
2. 旧約テキストの軽重の差：原典聖書と翻訳聖書の順序の違い
3. サムライが読んだ聖書：読み方の特徴、創造主の欠如、儒教的前提
4. 旧約聖書の読み方：「十戒」という言葉は聖書にない？！
5. 創世記の読み方：大きな区分と特徴あるテキストの読み方
6. 出エジプト記の主なテキストと、その読み方
7. レビ記と民数記の面白さ：クリスマスの旧約的背景など
8. 申命記の重要なテキストとまとめ

【テキスト】

『旧約聖書あと一步』

石黒則年 著

キリスト新聞社 2010年

『キリスト教ハンドブック』

(改訂版) 三省堂 2009年

※学習上に必要な他の文献については、各回に示されます。